

◎総括表の記載例

特別徴収とは...

事業主(給与支払者)が所得税の源泉徴収と同じように、従業員(納税義務者)に代わり、毎月従業員に支払う給与から個人住民税を引き去り(給与天引き)納入していただく制度。

- ◎R5年中に給与の支払いを受けた、R6.1.1時点で神埼市に住所のある従業員を報告してください。
- ◎所得税の源泉徴収義務のある事業主(給与支払者)は、従業員(納税義務者)の個人住民税を特別徴収することが地方税法第321条の4により義務付けられています。

普通徴収とは...

- 「特別徴収」以外に、市から送付される納税通知書や口座振替で個人が納付する方法。
- ◎退職者や不定期雇用の従業員等が対象となります。

| 令和6年度 給与支払報告書(総括表) | |
|--|------------------------------------|
| 神埼市長様 | 指定番号 8123456 |
| 年月日提出 | 8123456 |
| 給与の支払期間 R5年 1月分から 12月分まで | |
| 給与支払者の個人番号又は法人番号 | 5 0 0 0 0 2 0 4 1 |
| フリガナ | カンザキ |
| 事業種目 | サービス業 |
| 給与支払者の名称又は氏名 | 株式会社 神埼 |
| フリガナ | カンザキ |
| 給与支払報告者の中で、前職分給与を含めて年末調整をしている者がいる場合は「合算している」の文字を囲んでください。 | 合算している |
| 給与支払者が法人である場合の代表者の氏名 | 佐賀県神埼市神埼町 鶴3542番地1 |
| 連絡者の氏名、所属課、係名、及び電話番号 | 総務 課 人事 係 氏名 神埼 花子 電話 0952-37-0114 |
| 関与税理士氏名 | 必要・不要 |

◎指定番号は、神埼市が設定した特別徴収義務者番号です。

◎給与支払者が法人の場合法人番号を記入してください。
◎給与支払者が個人事業主の場合事業主の個人番号を記入してください。

●給与支払報告者の中で、前職分給与を含めて年末調整をしている者がいる場合は「合算している」の文字を囲んでください。

●特別徴収の納付書が不要の場合は、「不要」の文字を囲んでください。

| 略号 | 申請理由(下記7項目以外の理由は不可) | 人数 |
|--------------|-----------------------------|----|
| A | 給与の支払期間が1月を超える期間によって定められている | |
| B | 事業専従者(事業主が個人の場合のみ該当) | |
| C | 総受給者数(乙欄・退職者を除いた合計)が2名 | |
| D | 退職している(又は5月末日までに退職予定) | 3人 |
| E | 給与が少なく個人住民税額が引ききれない | 人 |
| F | 給与の支払いが不定期又は通年の雇用ではない | 人 |
| G | 他の事業所で特別徴収をする(乙欄該当者) | 人 |
| 普通徴収申請者 合計人数 | | 3人 |

◎普通徴収を認める基準に該当する従業員がいる場合は、給与支払報告書と併せて「普通徴収申請書」を必ず提出してください。
◎提出がないと特別徴収になる場合があります。
◎給与支払報告書の摘要欄には、普通徴収申請理由となった略号(A~G)を記入してください。

◎給与支払報告書の記載例

●控除対象配偶者の有無等
【有】欄
主たる給与等の支払者が配偶者控除を適用した場合は○
【従有】欄
従たる給与等の支払者が配偶者控除を適用した場合は○
【老人】欄
控除対象配偶者が有で、配偶者がS29.1.1以前生まれの場合は、老人欄にも○をつけてください。
※配偶者特別控除の場合は、この欄に○はつきません。

●控除対象扶養親族の数
【特定】欄
H13.1.2~H17.1.1生まれの人数
【老人】欄
S29.1.1以前生まれの人数
【老人(内)】欄=【同居老親】欄
上記の者のうち、老人に該当する直系尊属(父・母・祖父・祖母など)で同居している人数
※叔父・叔母等は該当しません。
【その他】欄
H20.1.1以前生まれで上記以外の人数

●控除対象配偶者
対象者の特定のため、必ず、氏名・フリガナ・個人番号の記入をお願いします。
※「配偶者の合計所得」欄には、誤って収入金額を書かないように注意してください。
※配偶者が国外居住者の場合は「区分」欄に○をつけてください。

受給者本人がいずれかに該当する場合は○を記入します。
※R5.12.31の状況で判断します。

●給与支払者が法人の場合法人番号を記入してください。
●給与支払者が個人事業主の場合事業主の個人番号(マイナンバー)を記入してください。

| 種別 | 支払金額 | 給与所得控除後の金額(調整控除後) | 所得控除の額の合計額 | 源泉徴収税額 | | | |
|--------------------------------------|---------------------|-------------------|------------|--|--------------|---------------------|---------|
| 給料・賞与 | 6,847,500 | 5,062,750 | 4,669,846 | 0 | | | |
| 控除対象配偶者 | 配偶者(特別)控除の額 380,000 | | | | | | |
| 控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。) | | | | | | | |
| 16歳未満扶養親族の数 | | | | | | | |
| 障害者の数(本人を除く。) | | | | | | | |
| 社会保険料等の金額 | 909,846 | | | | | | |
| 保険料の控除額 | | 120,000 | | | | | |
| 地震保険料の控除額 | | | 50,000 | | | | |
| 住宅借入金等特別控除の額 | | | | 19,600 | | | |
| 前職分(株)千代田 給与450,200 社保48,380 源泉4,500 | | | | | | | |
| 新生命保険料の金額 | 180,000 | 旧生命保険料の金額 | 100,000 | 介護医療保険料の金額 | 90,000 | 新個人年金保険料の金額 | 360,000 |
| 住宅借入金等特別控除適用数 | 2 | 居住開始年月日(1回目) | 23年1月 | 住宅借入金等特別控除区分(1回目) | 住 | 住宅借入金等年末残高(1回目) | 1 |
| 住宅借入金等特別控除可能額 | 205,000 | 居住開始年月日(2回目) | 26年 | 住宅借入金等特別控除区分(2回目) | | 住宅借入金等年末残高(2回目) | 9 |
| 氏名 | ハナコ 花子 | 区分 | | 個人番号 | 6543210987 | 所得金額調整控除額 | |
| 氏名 | イチロウ 一郎 | 区分 | | 個人番号 | 345678901234 | 5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号 | |
| 氏名 | ジロウ 二郎 | 区分 | ○ | 個人番号 | 456789012345 | | |
| 氏名 | サブロウ 三郎 | 区分 | | 個人番号 | 567890123456 | | |
| 氏名 | シロウ 四郎 | 区分 | | 個人番号 | 678901234567 | | |
| 氏名 | ゴロウ 五郎 | 区分 | | 個人番号 | 789012345678 | | |
| 氏名 | ロクロウ 六郎 | 区分 | | 個人番号 | 890123456789 | | |
| 氏名 | シチロウ 七郎 | 区分 | | 個人番号 | 901234567890 | | |
| 氏名 | ハチロウ 八郎 | 区分 | | 個人番号 | 012345678901 | | |
| 中途就・退職 | | | | | | | |
| 就職 | | | | | | | |
| 退職 | | | | | | | |
| 年 | 5 | 月 | 4 | 日 | 1 | 昭和 | 33 3 3 |
| 住所(居所)は所在地 | 佐賀県神埼市神埼町鶴3542番地 | | | 就職・退職をされた方は、該当する方に○をつけ、異動年月日を記入してください。 | | | |
| 名又は名称 | 株式会社 神埼 | | | | | | |
| 電話番号 | 0952-37-0114 | | | | | | |

●支払を受ける者
対象者の特定のため、必ず、氏名・フリガナ・住所・個人番号は正しく記入してください。
※R6.1.1時点の住所の記入をお願いします。

●障害者の数
【特別(人)】欄
控除対象配偶者または、扶養親族のうち特別障害者の人数
【特別(内)】欄
上記の者のうち、本人、配偶者または、生計を一にするその他の親族のいずれかと同居している人数
【その他】欄
特別障害者以外の障害者の人数
※年少扶養親族が障害者手帳をお持ちの場合も障害者控除は適用されます。

●摘要欄
【前職分給与を含めて年末調整している場合】
前職の給与支払額・給与支払額・社会保険料・源泉徴収税額を必ず記載してください。複数事業者がある場合も、それぞれ記入が必要です。
【普通徴収の場合】
普通徴収申請書に記載されている普通徴収申請理由の略号(A~G)を記入してください。

●生命保険料の金額の内訳
●住宅借入金等特別控除の額の内訳
住民税の課税に影響しますので、控除がある場合は必ず内訳を記入してください。

●控除対象扶養親族
対象者の特定のため、必ず、氏名・フリガナ・個人番号の記入をお願いします。
※16歳以上と16歳未満の扶養親族で記入箇所が分かれていますので、誤りのないようご注意ください。また、市区町村提出用には、16歳未満の扶養親族の個人番号も記入してください。
※扶養者が国外居住者の場合は「区分」欄に○をつけてください。
※扶養親族が記入欄数を超える場合は、摘要欄に記入してください。扶養親族が国外居住者・年少扶養者の場合はその旨補記してください。また、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」欄に対象者の個人番号を記入してください。

受給者の生年月日は個人特定のため必ず記入してください。

年末調整についてご不明な点は、国税庁HPの『令和5年分年末調整のしかた』をご覧ください。管轄の税務署にご相談ください。